

曾於市の特別支援教育推進の理解と啓発について

特別支援教育は
「特別なこと」ではありません

特別支援教育は子ども達が自立し、社会で活躍するために必要な力を育てる教育です。そのため子どもをよくみて可能性を伸ばしていきます。生活や勉強で困っていることを改善または克服できるよう、適切な指導や支援を行います。

障がいの有無にかかわらず
気付いたときに支援のはじまりです

支援を始めるには子どもの普段の様子を知ることが必要です。子どもの実態を知る方法に様々な検査があります。しかし最も大切なことは、いつも身近で子どもに関わっている保護者や教師などの気付きです。



曾於市の特別支援学級に在籍する 児童生徒の状況

曾於市の小中学校児童生徒全体の人数に対して特別支援学級に在籍する児童生徒の割合は、平成24年度で1.3%、令和5年度が5.6%と4倍以上になっています。これは、特別な支援が必要な子どもが増えたというよりも、子ども一人一人の様子を丁寧に観察し、その子どもに応じたきめ細やかな支援を行うようになった結果と考えています。

気になるときは各園や各小・中学校にご相談ください。

「子どもの様子を見ていて気になる」「どのようにかかわればよいかわからない」など、お困りのことがあれば、まず各園や学校へご相談ください。一番困っているのはお子さま本人かもしれません。

学校には「特別支援教育コーディネーター」が配置されており、特別支援教育の推進のため各種会合の調整や運営、関係機関や保護者からの相談窓口などの役割を担っています。

また特別支援を行う「校内委員会」が全ての学校に設置されています。特別な支援を必要とする子どもの存在や状態を確かめて、一人一人に応じた教育計画を立てます。

